

編集後記

今回技術室第10号を発刊するにあたりまして、ご協力戴きました関係各位に厚くお礼申し上げます。今年度は9名の定年退職者がいるから全ページそれだけで埋まる筈でした、ところがどっこい書いてもらえない人、又、文章量が極端に少ない人、義務ではないのでなにも言えませんが、それなりに苦労された担当者もおられます。私もそうですが年配技術者には物書きは苦手な人が多く、私等はものづくりと酒と世間話は得意ですと云えば、そういう時代ではありませんと誰かに言われそうですが、団塊世代の退職者も私で最終ラウンド、今しばらくお付き合いをお願いしますと、勝手な御託を並べてすみません。

技術室報告も今年で第10号になり、退職者が始まった第1号2000年から早10年の歳月が流れました。定年退職者の投稿を主においた技術報告の退職者投稿割当部分も、今年度の退職者9名に続き来年度2名その次に私で定年退職最終章です。それ以降永い歳月の間退職者は無いでしょうから、若い世代の技術投稿で発刊するしかありません。継続は力なりで何かの時に技術報告の記載文が参考になる時があるでしょう、その為にも技術報告は続けてほしいと思います。各人が隔年に技術発表を行い、それを記載すれば事足りると簡単に云い出すと怒られそうですが、実際には厳しいのが現状です。総力戦で(どげんかせんといかん)気持ちを持ち、それぞれの持っている技術をいかして頑張ってくださいをお願いします。

技術継承の面からすると、今回の退職者9名の記載文は大変参考になるかと思えます。次の世代の方がこれを読まれて、これからの技術室を担ってほしいと切に思います。参考になりましたらご意見ご批判を技術室までお寄せください、宜しくをお願いします。

2009年3月 機器開発班 園田保美

《出版委員》

浅田照行 企画情報班
園田保美 機器開発班
高山鐵朗 観測班
中尾節郎 企画情報班
藤原清司 機器運転班
松浦秀起 企画情報班
吉田義則 室長

技術室報告

第10号

2009年3月 発行

発行者 京都大学防災研究所 技術室

〒611-0011 宇治市五ヶ庄

Tel.0774-38-4320 Fax.0774-38-4291